



藤誠七 町長

平成24年度 施政方針 (要旨抜粋)

平成24年度は、未曾有の被害をもたらした東日本大震災、かつてない急激な円高など現下の経済情勢などをふまえ「共創のまちづくり」の理念のもと、引き続き人づくりを中心に据え重点分野を「子育て・教育」「雇用・産業」「地域」3分野として、特に人と人との「絆」、地域の「連帯」資源の「循環」などの「つながり」を視점에施策を展開

し、第5次白鷹町総合計画の実現に向けた歩みを着実に進め、「笑顔かがやき 心かよう 美しいまち」を目指してまいります。
町民の皆さまの安心・安全な暮らしを第一として生活と福祉の向上、さらには次世代につながるまちづくりとしての諸施策の実現に向け、精一杯努力いたす所存です。

次世代につながるまちづくりの施策の実現

つながりを視

総額

平成24年度各会計当初予算

会計名		予算額	
一般会計		78億3700万円	
特別会計	十王財産区	36万円	
	下水道	5億2009万円	
	国民健康保険	16億2337万円	
	農業集落排水	1億4312万円	
	介護保険	15億1288万円	
	後期高齢者医療	1億4147万円	
企業会計	水道	収益的支出	2億9811万円
		資本的支出	1億7916万円
	病院	収益的支出	11億4620万円
		資本的支出	1億4182万円
	訪問看護	収益的支出	3330万円
		資本的支出	0
総額		135億7688万円	

※万円未満は端数を整理しています。

総括質疑

●震災をふまえた施策は

菅原隆男議員

菅原 震災をふまえた新たな課題では、具体的にどう事業展開しますか。

町長 防災計画の見直しや消防分署、役場庁舎、中央公民館のあり方を検討していきます。

再生可能エネルギーの取り組みとして、エネルギー計画の策定や実証実験をしたいと思えます。

●信任が得られた段階で

菅原 今後の町政運営への姿勢を明らかにすべきと思いますが、町長の思いを伺います。

町長 現在の心境は、平成24年度の各会計予算や各議案が審議されその信任が得られた段階で、自分のすむべき道を明らかにしたいと考えています。

●「新しい公共」の観点

菅原 「新しい公共」という観点から、共同調理場の民営化の方向性を伺います。

町長 共同調理場は、民間委託を推進していきたいと思えます。どのような形態でどうするのか、働いている調理師さんの課題もあり内部で話し合いをしているところです。

●図書館をどうする

佐藤京一議員

佐藤 役場庁舎周辺の公共施設の再配置計画を策定するとありますが、中央公民館内にある図書館への考え方を伺います。

町長 中央公民館内にあるという視点のなかで取り組んでいきたいと思えます。中学校の統合や荒砥高校の存続に向けての将来性を考えた時には、その視点も必要と思えます。

●コミュニティセンターの検討状況

佐藤 地域コミュニティの構築があげられていますが、地区公民館のコミュニティセンター化の検討状況を伺います。

町長 23年度は、庁内のワーキンググループで現状や課題を整理し振興審議会や行政改革懇話会地区座談会などで意見交換を行いました。地域の実情に合わせ、時間をかけて取り組んでいきます。

※ 住民も公共サービスの提供者になること。行政は住民に場を提供し、信頼し、権限を移すことが求められます。